

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		区長アドバイザー				所管	総務部 区長・広報室			
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名					
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度			
		[小 柱]					[事業開始] 平成18年度			
		[施 策]					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区区長アドバイザー設置要綱						
	事業対象	区長及び関係職員								
	事業目的	区政の重要な施策やさまざまな課題について、専門的な立場から進言・助言を受けることにより、多様化・複雑化する行政ニーズに対応した政策の立案、決定に役立てる。								
	事業内容	専門知識や経験を有する外部の専門家から、必要に応じて区長アドバイザーを要請する。								
委託の有無	なし	委託内容								
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)			目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	要請回数 回			必要に応じ要請	2	1	3		
	成果指標									
	決算額 (単位：千円)					375	120	312		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				3,600	4,998	5,113		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				3	9	18		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				372	111	295		
		総経費				3,975	5,118	5,426		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0				
一般財源 (区負担額)				3,975	5,118	5,426				
前年度から改善した事項	前年度に引き続き、施策上の課題についての専門家を招聘し、アドバイスを受けることができた。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	施策上の新たな視点や独自政策の検討を図る上で、専門知識を持つアドバイザーを区長の必要な時期に招聘できる本事業の必要性は高い。							
	効率性	3	事業の実施方法、実施体制は適正であり、行政課題に対応するため、必要に応じて実施する事業として効率的に行っている。							
	手段の適切性	4	区長・副区長をはじめとした幹部少人数へのアドバイスを受ける方式は、ごく少人数の中での自由な雰囲気での議論が期待でき、専門家からの知識を得る手段として適切である。							
	目的達成度	4	本事業により得られた専門的視点は、区政の施策や課題への対応など、区政検討の段階に活かされている。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性			
その時々々の区民ニーズに的確に対応した、先進的・有効的な行政施策の検討、決定にあたり、一定の役割を果たしており、学識経験者や有識者等、外部の知的資源を有効に活用する本事業は今後も重要な役割を担う。							維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		